



2022年3月期 第3四半期決算短信(IFRS)(連結)

2022年2月8日

上場会社名 日新製糖株式会社
 コード番号 2117 URL <https://www.nissin-sugar.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 亮
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 大場 健司

TEL 03 - 3668 - 1293

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	35,222	6.0	2,275	10.8	2,418	9.3	1,669	69.4	1,669	69.4	1,663	64.3
2021年3月期第3四半期	33,230	10.7	2,054	39.9	2,212	38.8	985	61.1	985	61.1	1,012	55.1

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円銭	円銭
2022年3月期第3四半期	75.58	
2021年3月期第3四半期	44.63	

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	61,522	48,712	48,712	79.2
2021年3月期	61,316	48,543	48,543	79.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2021年3月期		33.00		33.00	66.00
2022年3月期		33.00			
2022年3月期(予想)				33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	45,000	2.8	1,800	18.4	2,100	13.6	1,400	23.6	1,400	23.6	63.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	22,673,883 株	2021年3月期	22,673,883 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2022年3月期3Q	578,113 株	2021年3月期	586,823 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	22,091,406 株	2021年3月期3Q	22,082,987 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済につきましては、新型コロナウイルスの感染状況に応じて経済活動の制限と緩和が繰り返される中で、全国的に新型コロナワクチンの接種が進展したこと等により感染者数が減少し、持ち直しの動きがみられました。一方で、変異株による新型コロナウイルス再拡大や、資源・原料コストの上昇により景気が下振れするリスクも依然として抱えており、先行きは不透明な状況となっています。

当第3四半期連結累計期間の業績は、新しい生活様式が定着しつつあり、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら社会・経済活動を行うことが可能になってきたことを受け、売上収益35,222百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益2,275百万円（同10.8%増）、税引前四半期利益2,418百万円（同9.3%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益1,669百万円（同69.4%増）となりました。なお、前年同期は健康産業事業において、税効果会計における回収可能性の見直しを実施したこと等により、税負担率が増加しています。

セグメントの概況は以下のとおりです。

[砂糖その他食品事業]

海外原糖市況につきましては、1ポンド当たり14.71セントで始まり、主要生産国であるブラジルの干ばつや降霜による供給面での不透明感の強まりにより、11月中旬には約4年9ヶ月ぶりの高値となる20.69セントまで値を上げました。その後は、タイ・インドでの増産予想等で上値が重い状況下、変異株による新型コロナウイルスの感染拡大懸念や、原油をはじめとする国際商品市場から投機資金が流出したことから、海外原糖市場も値を下げ18.88セントで当第3四半期を終了しました。

海外原糖市況（ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限））

	日付	セント/ポンド	円/kg	為替（円/ドル）
始 値	2021年4月1日	14.71	36.27	111.84
高 値	2021年11月18日	20.69	52.54	115.18
安 値	2021年4月1日	14.68	36.20	111.84
終 値	2021年12月31日	18.88	48.29	116.02

(注) 1ポンドは約0.4536kgとして換算し、為替は当日の三菱UFJ銀行直物為替公表TTSによっています。なお、12月31日は東京外国為替市場が休場のため、12月30日の三菱UFJ銀行直物為替公表TTSによっています。

一方、国内精糖市況（日本経済新聞掲載、東京）につきましては、上白糖1kg当たり192～193円で始まり、8月初旬に6円上昇し198～199円となり、そのまま当第3四半期を終了しました。

このような状況のもと、主力の砂糖につきましては、新しい生活様式の定着の流れを受け、巣ごもり需要による製菓・製パン販売等が回復したことや、緊急事態宣言が解除され、外食関係等で一部回復がみられたことにより、業務用製品が増加しました。また、当社独自製品のきび砂糖や梅酒向け氷砂糖の出荷が好調に推移したこと等により、一部家庭用製品は増加しました。その結果、砂糖全体の出荷量は前年同期を上回りました。利益面においては、海外原糖相場が高騰したことによる原料調達コストの上昇等により、前年同期を下回りました。

ツキオカフィルム製菓株式会社につきましては、フィルム事業においてフィルム石鹼の需要が一巡したものの、食用純金箔事業において百貨店・路面店等の一部業種における需要が回復していること等により、減収増益となりました。

以上の結果、砂糖その他食品事業合計の売上収益は32,334百万円（前年同期比5.2%増）、セグメント利益は2,124百万円（同21.0%減）となりました。

〔健康産業事業〕

健康産業事業につきましては、総合フィットネスクラブ7店舗、女性専用のホットヨガ&コラーゲンスタジオ5店舗およびコンパクトジム18店舗を関東地方において運営しています。引き続き感染防止策を徹底し、新しい生活様式に沿った効率的な事業運営を行ったことや、緊急事態宣言の解除により、会員数は前年同期よりも増加しましたが、回復基調は鈍く、度重なる緊急事態宣言の延長やまん延防止等重点措置により一部店舗で休業や時短営業を実施した影響から、依然として厳しい状況が続いています。このような状況のもと、休業や時短営業等の対象店舗・期間が限定的になり、営業日数が増加したことや、月会費を値上げしたことによって売上収益は1,679百万円（前年同期比22.4%増）、セグメント損失は100百万円（前年同期はセグメント損失906百万円）となりました。

〔倉庫事業〕

倉庫事業につきましては、港湾運送において輸入建材の取扱量が増加したことにより売上収益は1,207百万円（前年同期比6.5%増）となりました。一方、輸入合板の在庫水準が低調に推移したこと等により、セグメント利益は251百万円（同7.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は25,778百万円となり、前連結会計年度末に比べ225百万円増加しました。これは主に現金及び現金同等物が580百万円、その他の金融資産が76百万円、棚卸資産が248百万円それぞれ減少した一方で、営業債権及びその他の債権が1,167百万円増加したことによるものです。非流動資産は35,743百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円減少しました。これは主に使用権資産が289百万円、持分法で会計処理されている投資が85百万円それぞれ増加した一方で、有形固定資産が273百万円、その他の金融資産が60百万円、退職給付に係る資産が35百万円それぞれ減少したことによるものです。

この結果、資産合計は61,522百万円となり、前連結会計年度末に比べ206百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は8,183百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円増加しました。これは主に営業債務及びその他の債務が260百万円減少した一方で、その他の金融負債が168百万円、未払法人所得税等が146百万円それぞれ増加したことによるものです。非流動負債は4,626百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円増加しました。これは主に退職給付に係る負債が48百万円、繰延税金負債が55百万円それぞれ減少した一方で、リース負債が117百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は12,809百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円増加しました。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は48,712百万円となり、前連結会計年度末に比べ168百万円増加しました。これは主に親会社の所有者に帰属する四半期利益1,669百万円および配当金の支払による減少1,458百万円によるものです。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は79.2%（前連結会計年度末比0.0ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期以降のわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、引き続き予断を許さない状況にあります。

砂糖その他食品事業につきましては、精製糖事業においては、観光や外食向けの製品を中心に回復速度は緩やかで、海外原糖市況の高止まり、エネルギーコストの上昇により、業界環境は厳しい状況が見込まれます。このような状況のもと、当社グループは生活必需品である砂糖を消費者の皆様に安定供給し、社会的責任を果たすことを最優先として取り組んでまいります。

その他食品事業においては、ツキオカフィルム製菓株式会社において、新型コロナウイルス感染症の影響が続くことから緩やかな回復を見込んでいます。引き続き、新規商材の開発に努めてまいります。

健康産業事業につきましては、ワクチン接種により新型コロナウイルス感染症が収束に向かうことで、健康・運動志向の持ち直しにより会員数の回復が期待されますが、依然として厳しい状況が続いています。F I A(日本フィットネス産業協会)水準を上回る感染防止策を徹底するとともに、IT化によるコスト削減やお客様のニーズにあわせた店舗リニューアル等を進め、コロナ禍における新常态に対応した店舗運営体制を新たに構築し、早期の業績回復を目指してまいります。

倉庫事業につきましては、冷蔵倉庫・港湾運送ともに在庫水準の維持、稼働率の向上に努めてまいります。

以上の結果、2021年11月9日の「2022年3月期 第2四半期決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	8,524	7,943
営業債権及びその他の債権	4,510	5,678
その他の金融資産	6,195	6,118
棚卸資産	6,062	5,814
その他の流動資産	260	223
流動資産合計	25,553	25,778
非流動資産		
有形固定資産	11,432	11,159
使用権資産	2,512	2,801
のれん	2,515	2,515
無形資産	323	327
持分法で会計処理されている投資	11,728	11,813
その他の金融資産	5,869	5,808
退職給付に係る資産	710	674
繰延税金資産	168	150
営業債権及びその他の債権	2	4
その他の非流動資産	498	487
非流動資産合計	35,763	35,743
資産合計	61,316	61,522

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	1,300	1,300
営業債務及びその他の債務	3,571	3,311
リース負債	967	939
その他の金融負債	31	200
未払法人所得税等	293	440
その他の流動負債	1,991	1,992
流動負債合計	8,156	8,183
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	0	0
リース負債	2,880	2,997
その他の金融負債	113	109
退職給付に係る負債	307	259
引当金	413	415
繰延税金負債	863	807
その他の非流動負債	37	37
非流動負債合計	4,615	4,626
負債合計	12,772	12,809
資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	11,603	11,610
自己株式	△296	△292
その他の資本の構成要素	1,405	1,352
利益剰余金	28,830	29,041
親会社の所有者に帰属する持分合計	48,543	48,712
資本合計	48,543	48,712
負債及び資本合計	61,316	61,522

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	33,230	35,222
売上原価	26,180	28,394
売上総利益	7,050	6,827
販売費及び一般管理費	4,690	4,619
その他の収益	67	90
その他の費用	371	23
営業利益	2,054	2,275
金融収益	78	80
金融費用	55	45
持分法による投資利益	134	107
税引前四半期利益	2,212	2,418
法人所得税費用	1,226	748
四半期利益	985	1,669
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	985	1,669
非支配持分	—	—
四半期利益	985	1,669
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	44.63	75.58

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	985	1,669
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値 で測定する金融資産	16	△56
持分法適用会社におけるその他の包括 利益に対する持分	△0	△0
純損益に振り替えられることのない 項目合計	16	△56
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	10	50
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	10	50
税引後その他の包括利益	26	△6
四半期包括利益	1,012	1,663
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,012	1,663
非支配持分	—	—
四半期包括利益	1,012	1,663

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2020年4月1日時点の残高	7,000	11,596	△300	5	356
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	10	16
四半期包括利益合計	—	—	—	10	16
自己株式の取得	—	—	△0	—	—
配当金	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	3	4	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	319
非金融資産への振替	—	—	—	△14	—
所有者との取引額合計	—	3	3	△14	319
2020年12月31日時点の残高	7,000	11,599	△296	0	691

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	合計
	確定給付制度の再測定	合計			
2020年4月1日時点の残高	—	361	29,382	48,039	48,039
四半期利益	—	—	985	985	985
その他の包括利益	—	26	—	26	26
四半期包括利益合計	—	26	985	1,012	1,012
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0
配当金	—	—	△1,413	△1,413	△1,413
株式報酬取引	—	—	—	7	7
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	319	△319	—	—
非金融資産への振替	—	△14	—	△14	△14
所有者との取引額合計	—	304	△1,732	△1,420	△1,420
2020年12月31日時点の残高	—	692	28,635	47,631	47,631

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2021年4月1日時点の残高	7,000	11,603	△296	3	1,401
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	50	△56
四半期包括利益合計	—	—	—	50	△56
自己株式の取得	—	—	△0	—	—
配当金	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	6	4	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	0
非金融資産への振替	—	—	—	△47	—
所有者との取引額合計	—	6	4	△47	0
2021年12月31日時点の残高	7,000	11,610	△292	6	1,345

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	合計
	確定給付制度の再測定	合計			
2021年4月1日時点の残高	—	1,405	28,830	48,543	48,543
四半期利益	—	—	1,669	1,669	1,669
その他の包括利益	—	△6	—	△6	△6
四半期包括利益合計	—	△6	1,669	1,663	1,663
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0
配当金	—	—	△1,458	△1,458	△1,458
株式報酬取引	—	—	—	11	11
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	0	△0	—	—
非金融資産への振替	—	△47	—	△47	△47
所有者との取引額合計	—	△47	△1,458	△1,494	△1,494
2021年12月31日時点の残高	—	1,352	29,041	48,712	48,712

- (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。